

学校への「支援金」は十分活用されたか？

～ 新型コロナウイルス感染症の対策第2次補正予算に関する日教組調査より ～

日教組は、2020年度政府第2次補正予算において予算化された「学校再開に伴う感染症対策・学習保障に係る支援経費（405億円）」について、学校現場の活用状況を緊急に調査しました。

◆学校再開に伴う感染症対策・学習保障に係る支援経費って？

各学校が段階的に教育活動を再開するにあたって、感染症対策や子どもへの学習の保障にとりくむ際に、校長の判断で迅速かつ柔軟に対応することができるよう措置された支援金。

◆各学校への支援経費はいくら？

学校種			*支援対象経費	
			全国	*加算地域
小学校 義務教育学校（前期課程）	児童数	1-300人	100万円	200万円
	児童数	301-500人	150万円	300万円
	児童数	501人以上	200万円	400万円
中学校 義務教育学校（後期課程） 中等教育学校（前期課程）	生徒数	1-300人	100万円	200万円
	生徒数	301-500人	150万円	300万円
	生徒数	501人以上	200万円	400万円
高等学校 中等教育学校（後期課程） 専修学校（高等課程） 特別支援学校（高等部のみ設置）	生徒数	1-400人	200万円	300万円
	生徒数	401-700人	250万円	400万円
	生徒数	701人以上	300万円	500万円
特別支援学校			400万円	500万円
高等学校（通信制課程のみ設置）			100万円	100万円

* 支援対象経費は、事業補助額（1/2）＋地方創生臨時交付金（1/2）

* 加算地域は、2020年5月15日時点で特定警戒都道府県とされていた

- ①北海道 ②埼玉県 ③千葉県 ④東京都 ⑤神奈川県 ⑥京都府
⑦大阪府 ⑧兵庫県 が該当

◆どんなものに使っていいの？（対象経費 文科省実施要領より抜粋）

補助対象期間：2020年4月1日～2021年3月31日

1. **対象** 消耗品費、学校備品費（据付費含）、通信運搬費、借損料、雑役務費

とし、

○感染症対策として(例)

- ・消毒液や非接触体温計等を追加的に購入
- ・集団で検温する場合のサーモグラフィーの購入
- ・換気に必要なサーキュレーターの購入
- ・学校給食調理員の冷却ベスト等の購入、熱中症対策

○子どもたちへの学習保障支援として(例)

- ・家庭で効果的に学習をするための教材購入、子どもの学びのために必要な経費
- ・家庭等との連絡、保護者等の問合せ対応のための臨時的な学校電話機の増設
- ・空き教室等を活用して授業する場合の備品購入

2. **対象とされないもの** 人件費、謝金、光熱水費

日教組 緊急調査結果(抜粋)

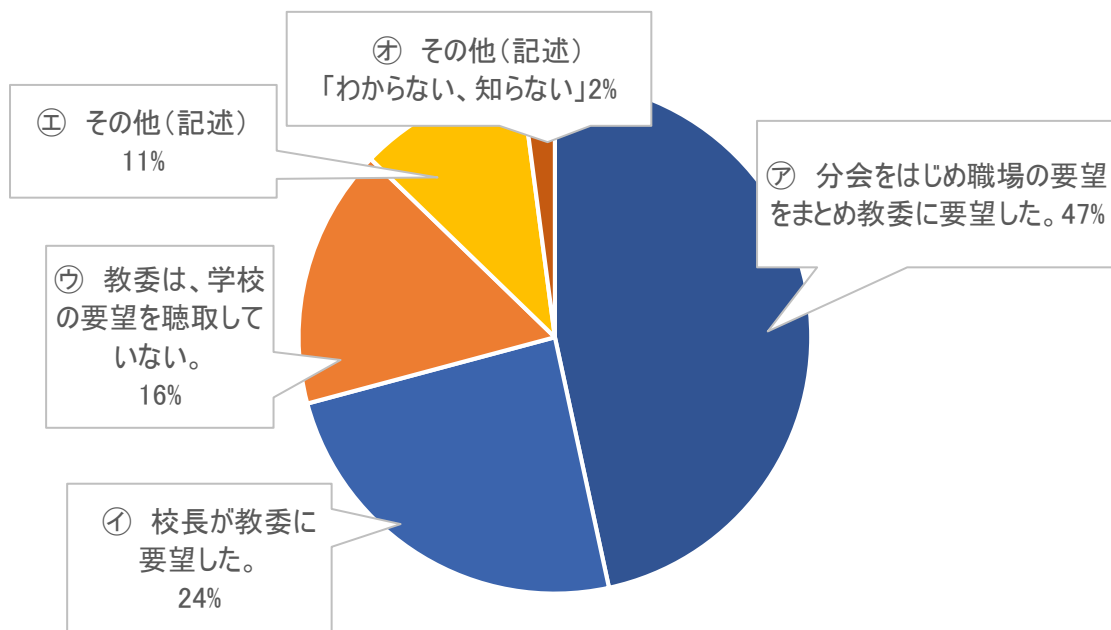
1. 回答数 14 都道府県 384 分会

2. 調査結果

【その1】

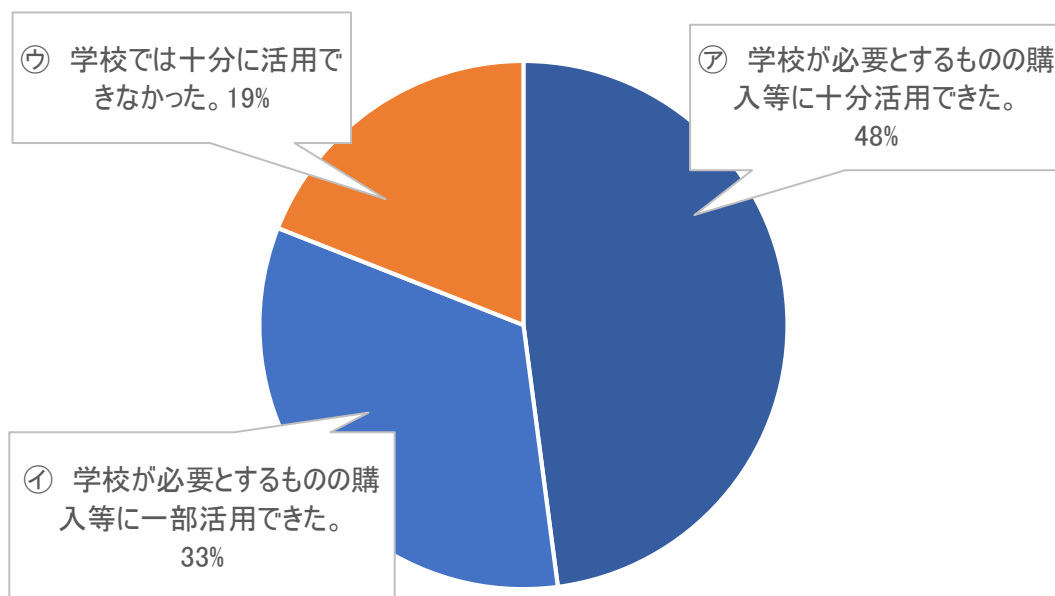
「学校再開に伴う感染症対策・学習保障に係る支援経費」は職場でどう取り扱われましたか？

選択項目	回答数
㊦分会をはじめ職場の要望をまとめ教委に要望した。	179
㊦校長が教委に要望した。	93
㊦教委は、学校の要望を聴取していない。	63
㊦その他(記述)	41
㊦その他「わからない、知らない」	8



【その2】
「学校再開に伴う感染症対策・学習保障に係る支援経費」は活用できましたか？(予定も含む)

選択項目	回答数
㊦学校が必要とするものの購入に十分活用できた。	184
㊧学校が必要とするものの購入に一部活用できた。	127
㊨学校では十分に活用できなかった。	73



【その3】

「学校再開に伴う感染症対策・学習保障に係る支援経費」で購入したもの、購入予定のもの(業務委託も含む)

購入(予定)のもの等	回答数
消毒用アルコール、消毒用石鹼	328
マスク、フェイスガード、使い捨て手袋、ペーパータオル	185
エアコン、扇風機(体育館用大型扇風機)、空気清浄機	147
非接触体温計、体温計、体温測定用サーモグラフィー	98
網戸	27
PC、タブレット、wifi 設備	25

【その4】

新型コロナウイルス感染症対応として必要なもの(加配等の人員はのぞく)

- ① 感染予防のためのマスク(マウスシールド)・消毒アルコール等、感染予防対策のための備品。感染予防のためのマスク・アルコール消毒薬等の継続的購入が必要。
 - ・ 消毒液 給食配膳用手袋などの消耗品に係る費用拡充を要望する。
 - ・ 給食配膳用手袋などの消耗品に係る費用拡大を要望する。
 - ・ もっと予算がほしい アルコール消毒液が足りない。
 - ・ 今回予算措置された分はほとんど消化される。今後第2波が起こった際、随時購入する物品等の予算が不足する。

- ② 校舎・教室の改善等の費用が必要。
 - ・ 改修を伴う支出が不可ということで、特別教室の空調設備設置を検討することができなかった。そのため網戸の設置に切り替えた(網戸に対しては職員からの要望が強かったので、支援費は有効に活用できている)。
 - ・ 工事を伴う事項も容認してほしい。その上で、換気の為の体育室網戸設置、飛沫防止の為の便座蓋設置が必要。
 - ・ 教室での密集を避けるために、エアコン未設置の教室及び特別教室に空調設備を設置したかったが、配分予算では不足かつ改修不可だった。
 - ・ 感染疑いの生徒を隔離する部屋(保健室以外)の確保及び整備のための予算がない。

- ・ 換気をしながらのエアコンの使用や、夏休み短縮のために電気代が上がるので、その辺りの補助をしてほしい。また、トイレや水道等、接触を減らすような工事費用があるとありがたい。

③ やっぱり、人的な支援が必要！

- ・ 日常の消毒や健康観察などの業務が大変負担になっています。時間外の作業になることもあるし、これらの業務について担当者自身が感染のリスクが高くなっていることに考慮されていない。
- ・ 消毒作業や児童が行っていたトイレ掃除などを放課後に教職員が行っており負担が増えている。外部委託をしてもらいたい。
- ・ やはりモノより人、時間。分散登校ということは教員が倍必要。教員の感染対策しつつ両立は難しい。

3. 調査より

- ・ 感染状況、学校種等の学校の実態が異なる中で、それぞれの学校のニーズに応じた予算措置は有効であった。
- ・ 予算の活用にともない、職場で要求をとりまとめるなど現場のニーズに応じた対応が図られた職場において、「活用度」が高い。
- ・ 一方で、「校長の判断で迅速かつ柔軟に対応する」ことが予算趣旨であったにも拘わらず、それぞれの学校のニーズが聞き取られていない状況もある。
- ・ また、制度の周知が十分されていない状況も見られる。教育行政と学校（校長・教職員）が一体となって感染症に対応していくためには、一体感のある対応が求められる。
- ・ 購入されたもの（購入予定を含み）の大半がマスクや消毒薬等の消耗品となっている。そのため、現場は、今後の感染拡大に備え継続的な予算措置を求めている。
- ・ 水道の蛇口、洋式トイレの蓋、教材教具の数等、新しい生活様式を想定していない校舎・教室の環境整備が強く求められている。
- ・ 感染対策と同時に熱中症への対応を多くの学校が実施している。体育館をはじめ、すべての教室への空調設備の整備が求められている。
- ・ 今後、「寒さ」対策にむけた環境整備のための予算措置も必要とされる。